

桂徳わくわくアンケート号①

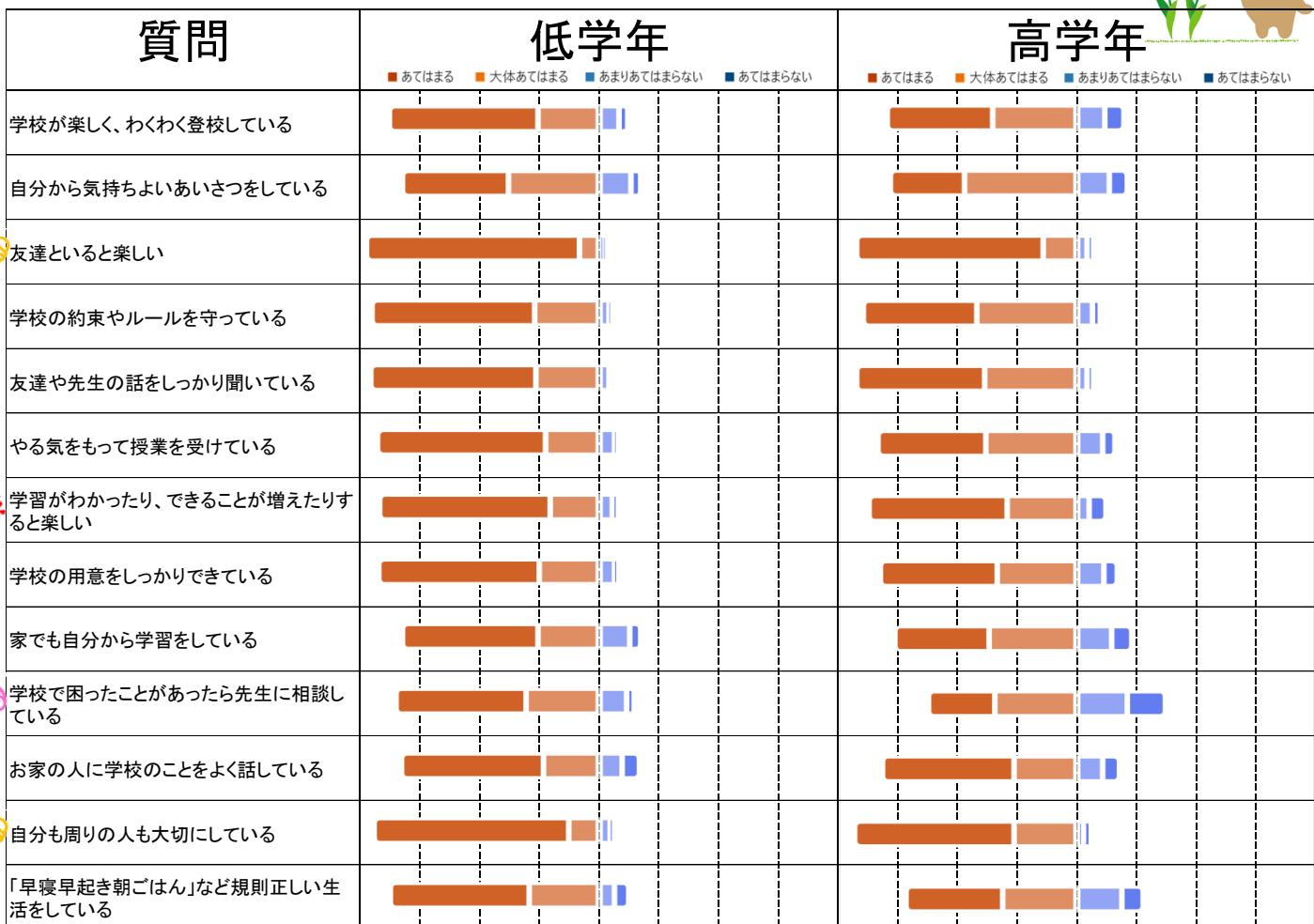
京都市立桂徳小学校
校長 富田 博二



ご協力ありがとうございました

保護者の皆様には、桂徳わくわくアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。今回も、多くの保護者の方から、お子たちの様子についてご回答いただきました。保護者の皆様の本校教育への関心の高さによるものと受け止めております。本校の良い点・課題となっている点について若干の考察を加え、お伝えさせていただきます。

令和7年度 桂徳わくわくアンケート① 結果



* 子どもたちの「楽しい！」が学びの原動力に

「学習がわかつたり、できることが増えたりすると楽しい」と感じている児童が多く、学びに前向きな姿勢が育まれていることがわかりました。これは各担任の先生の工夫ある授業や、保護者の皆様のご家庭での支えがあってこそです。今後も「わかる・できる・楽しい」を大切に、学びの場をさらに充実させていきます。

* 友達とのつながりが心の支えに

「友達といふると楽しい」「自分も周りの人も大切にしている」といった回答から、児童同士の温かいつながりが感じられます。たてわり活動など異学年交流の場も、子どもたちの社会性を育む貴重な機会となっています。2学期は運動会や学習発表会があります。友達とのつながりを今後も実感できるように教育活動を進めたいと思います。

学校教育目標
『やりたいことを見つけ、夢中になって取り組む』
～みんなが行きたい桂徳小～



 **困った時は相談できるように**
「学校で困ったことがあつたら先生に相談している」では、やや否定的な回答が見られました。高学年では自立心の表れとも言えますが、安心して相談できる環境づくりのため今後も教育相談週間や日々の声掛け等、継続していきたいと思います。また、環境づくりだけでなく、子どもたち自身が相談する力を育てるため、話し合い活動も引き続き大切にしていきたいと思います。

 **保護者の皆さんへ**

今回のアンケートでは、多くの保護者の方が「学校生活を楽しんでいる」「友達と仲良くしている」といつた点で、子どもたちの前向きな姿を感じてくださっていることがわかりました。一方で、「相談しているかどうか」「あいさつしているかどうか」など、見えにくい部分については“わからない”という回答に見られるように不安や疑問を感じている方もおられるようです。

学校では、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めています。今後も、保護者の皆さんと連携しながら、子どもたちの成長を支えていきたいと思います。「学校での様子はわからないなあ…」「前は自分から話してくれてたんだけどなあ…」という声を聞きます。年齢を重ねるにつれ、学校での出来事を自分からは話さなくなるものです。そんな時は、このようなアンケートもお子さんとの話題としてご活用ください。

今回ご回答いただけなかった方も、次回のアンケートではぜひお声をお聞かせください。